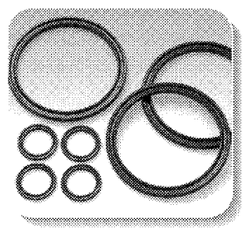
Oリング
㊐日本工業規格表示許可 第386145号
油・空気圧パッキン

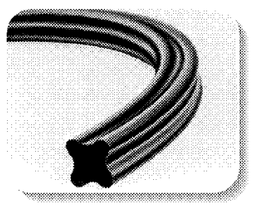
ホームページでご覧ください。
1個からでもご注文承ります。

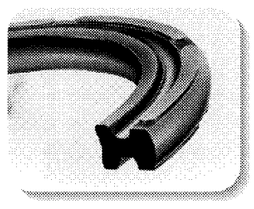
特殊Oリングをお探しの方、御自分で寸法を設定し検索できます。（製品情報/金型検索）

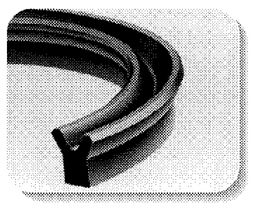
http://www.kyowa-seal.co.jp

豊富さと安さで短期納品！ 各国大手 油・空気圧メーカー続々採用へ。


空気圧用パッキン


XリングKSXシリーズ

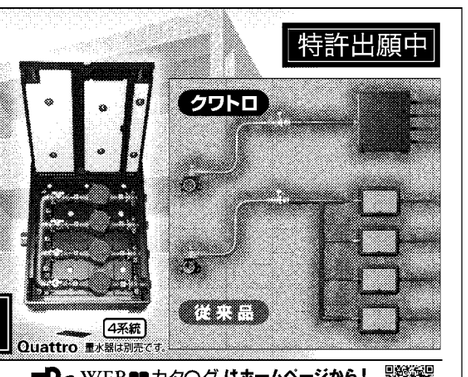

ピストンパッキンOPAシリーズ


ミニリップパッキンKSYシリーズ

摺動部用（油・空気圧用）
パッキン
●Oリング
●空気圧用シールパッキン（X・Y・Uパッキン）
●油圧用シールパッキン（X・Y・Uパッキン）
●変圧シール・ガスケット ●ゴム成型金型

■量産システム・最新設備による低価格の実現。■豊富な在庫による即納体制。
■豊富で好きなサイズと巾広い材質に対応可。■シール設計、材料開発、評価試験による商品開発。

KS 協和シール工業株式会社
〒950-3133 新潟市北区すみれ野2-5-31 TEL（025）259-5776FAX（025）259-6965・259-6984・259-7360
●協和シール・フランス/Avenue de la Gare84400Apt(france) TEL.(90)74.41.40
E-mail ksinfo@kyowa-seal.co.jp
ISO-9001認証　ISO-14001認証

メータユニット一体型で1つのメータボックスに
最大4つの量水器を設置可能！
特許出願中
■463の水道事業体より順次許認可取得中 ■東京都水道局登録済
ボックス設置の掘削土量45%削減！
配管接合箇所の低減
設置工事の集約による作業性向上
戸数に合わせて、4,3,2系統をラインナップ


低層集合住宅用・複式メータボックス クワトロ
Quattro 4系統 量水器は別売です。
水と暮らしを結ぶ
株式会社タブチ 商品のお問合せは 0120-481-130
検索機能充実の TBC WEB カタログ TABUCHI WEB CATALOG はホームページから！ タブチ 検索
モバイルサイトはこちら
〈本社/工場〉〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1-56 TEL 06-6708-0150（代）〈支店/営業所〉札幌・仙台・北関東・西関東・東関東・東京・南関東・静岡・金沢・名古屋・大阪・広島・福岡・南九州・沖縄

水 いざというとき ストック機能は必需品

近年ストック機能を重視した給水方式が増えています。

震災地で受水槽があって水が手に入り本当に良かったの声が聞かれた。

株式会社 FMバルブ製作所
URL.http://www.fmvalve.co.jp
本社・工場 〒359-0012 埼玉県所沢市坂之下 597
TEL(04)2944-2161 FAX(04)2944-0044
東京支店 TEL(03)3949-6151　九州営業所 TEL(096)379-8765
名古屋営業所 TEL(052)483-2301　仙台営業所 TEL(022)247-8761
大阪営業所 TEL(06)6339-1321　札幌営業所 TEL(011)381-1751

すべての産業の発展支えるバルブ

バルブ業界の取り組み

（社）日本バルブ工業会　専務理事　比企　諭

バルブは、流体（水・空気・ガス・油・蒸気などあらゆる流体物）を制御するために、流体の通路を開閉、調整する構造を有する機器であり、すべての産業の発展を陰で支える重要な機器である。配管装置システムの機能や安全性の観点から、重大な責任を負うバルブであるにもかかわらず、バルブの重要な役割はあまり注目されていない。そうしたバルブの重要性を広く認識してもらうとともに、バルブに関心をもってもらうことを目的として「バルブの日（3月21日）」を制定するとともに、バルブのイメージキャラクター「ばるちゃん」を誕生させた。

『バルブ産業ビジョン』実践

信頼と成長、攻めの経営

最近のバルブ業界の状況を見ると、2008年秋のリーマン・ショックに端を発した世界的大不況の影響による大幅な需要減から、いくらか回復傾向を示しているものの、本格回復にはまだ時間がかかる見込みである。国内需要の停滞が続く中、新興国を中心とする海外需要に活路を見いださざるを得ない状況である。また、需要の減少と併せ原材料高、円高、原油高などの要因によって先行き不透明感が残り、当面、難しい収益状況が続くものと思われる（表1、2参照）。

このような状況の中、「ばるちゃん」を活用した広報活動の展開などを積極的に推進していく。

環境対策の一環として「バルブ製品アセスメントガイドライン」をベースにした「グリーンバルブプロジェクト（仮称）」を立ち上げる。設計段階から、省エネ、省資源、リサイクル、有害物質の排除などあらゆる環境面に配慮し、バルブの製造、流通、使用、廃棄までのライフサイクル全般を通し、「環境に優しいグリーンバルブ」をキャッチフレーズにした「環境配慮設計」を目指すものである。

また、今回のビジョン追補版において、業界初の事業構想として二つの事業を計画した。

一つ目が「バルブ総合展示会」の開催である。従来、需要分野ごとでの展示会出展がほとんどであったが、バルブを知ってもらうという観点から、水栓（蛇口）から原子力発電所用バルブなどあらゆる産業分野で使用されているすべてのバルブを一堂に展示するという構想である。次年度より開催の準備を進め、13年3月開催を目標に進めることにしている。

二つ目が「バルブ工学会」の設立である。国内では技術分野の学会が数多く設立されているが、バルブは材料、鋳造・鍛造、熱処理、表面処理、流体制御など多様な技術の結集であるがために、バルブ専門の学会は成立しないものと考えられていた。

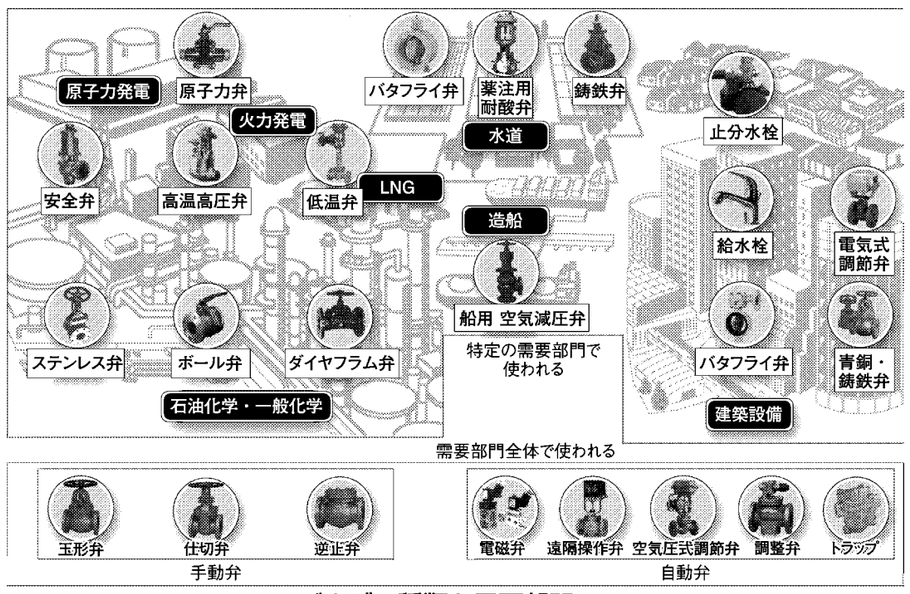
しかし、発想の転換を図り大学、研究機関、企業などでそれぞれ専門分野を研究している研究者・開発者などに、バルブを対象としてそれぞれの専門分野での研・開発論文の発表の場を設けることとするのであれば、バルブ専門の学会として成立するであろうと本事業の展開を決めた。学会設立が成った暁（あかつき）には、バルブに関する新技術の開発促進とともに、人材の確保・育成につながるものと確信する。

今回のビジョン追補版の策定を機に、バルブ業界一致協力の下、「バルブ産業ビジョン」で掲げた「日本ブランドの恒久的な地位の確立」を目指し、より信頼性の高い製品の安定的な供給に努める。

当工業会では「バルブ産業ビジョン」実践に向けて環境対策、新技術研究開発、モノづくり人材の確保・育成、国際競争力の強化などを中心に積極的な活動を展開している。

しかしながら、最近の世界的な社会情勢・経済情勢の急激な変化に臨機応変に対応を図るため、「バルブ産業ビジョン」について今後3年間（11―13年度）を第2期3カ年計画と位置付け、短期計画でのアクションプランの見直しを行い「バルブ産業ビジョン 追補版」として策定、次年度よりアクションプランに基づき実践していくこととした。

ビジョン追補版の内容は、①信頼され成長するバルブ産業へ②技術、技能を生かした攻めの経営③多様なニーズへの挑戦④積極的なグローバル戦略の展開⑤人材の確保と育成⑥環境保全とビジネスの両立⑦バルブ産業の地位向上の7項目を柱とし、CSR（企業の社会的責任）の推進、新技術の研究開発、バルブ設計データブックの改訂、人材の確保と育成のための研修制度などの見直し、海外進出戦略の展開、環境対策の推進、バルブのイメージキャラクター



バルブの種類と需要部門

表 1. 最近のバルブ生産状況

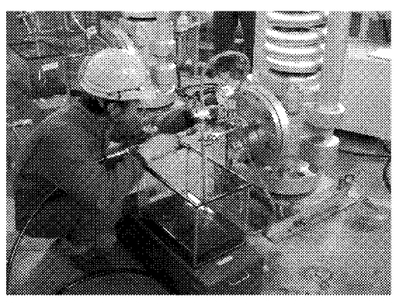
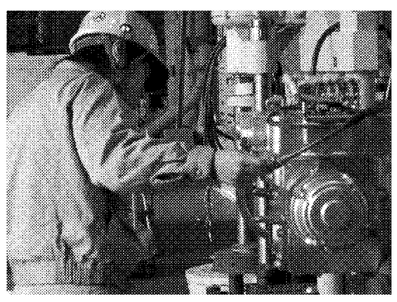
項目＼暦年	2006年		2007年		2008年		2009年		2010年	
	実績	前年比(%)	実績	前年比(%)	実績	前年比(%)	実績	前年比(%)	実績	前年比(%)
数量（千個）	116,673	126.7	114,944	98.5	104,062	90.5	87,963	84.5	96,493	109.7
金額（百万円）	428,404	112.1	456,602	106.6	432,028	94.6	370,569	85.8	391,137	105.6

（経済産業省「鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計」による）

表 2. 最近のバルブ輸出入状況　（単位：百万円）

項目＼暦年	2006年		2007年		2008年		2009年		2010年	
	実績	前年比(%)	実績	前年比(%)	実績	前年比(%)	実績	前年比(%)	実績	前年比(%)
輸出	348,520	115.7	400,863	115.0	392,227	97.8	275,121	70.1	393,221	142.9
輸入	174,728	123.4	203,316	116.4	189,869	93.4	128,391	67.6	150,805	117.5

（財務省「貿易統計」による）

お客様へのおもいを支える技術と創造力
永続的未来への発展と挑戦
TVE
TOA Valve Engineering Inc.


東北地方太平洋沖地震により被災された皆様へ
平成23年3月11日に発生いたしました東北地方太平洋沖地震により、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。被災地域の皆様に一日でも早く元の生活が戻ることを祈念申し上げます。
TVE 東亜バルブエンジニアリング株式会社
〒660-0054 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号
TEL. 06-6416-1184 FAX. 06-6416-1305
http://www.toavalve.co.jp/

kawaden　Patent
震災時緊急遮断弁システム
電気二重層キャパシタ駆動自動弁 CAPACON キャパコン

省エネと信頼を追求して…
緊急操作
自己診断
安心確実
製造・販売 株式会社カワデン
大阪本社 〒554-0052 大阪市此花区常吉1-1-55(テクノパーク常吉11・12号地) TEL. 06-6468-3511(代) FAX. 06-6468-3611
東京支店 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-5(ディアマントビル5F) TEL. 03-3526-6331(代) FAX. 03-3256-6224
研究・開発 カワデン技研株式会社
大阪本社 〒554-0052 大阪市此花区常吉1-1-60 TEL. 06-4804-3711 FAX. 06-4804-3811
問い合わせは右記メールにご連絡願います E-mail info@kawaden-giken.co.jp